

別表第1（第5条関係）

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 24 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	観光宣伝事業			
担当課係名	観光課	観光係	作成者	阿部 聡
総合計画での位置づけ	施策の大綱	歴史と自然が織り成す交流拠点のまち		総合計画のページ 28
	基本計画	観光誘客体制の整備と観光資源の掘り起こし		
	主要施策	テンミリオン計画の推進		
予算費目	一般会計	7款 商工費	1項 商工費	3目 観光費
事業期間	平成 18 年度 ~ 平成 27 年度		新規/継続の区分	継続
性質区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービス	<input type="checkbox"/> 公共事業	<input type="checkbox"/> 施設維持管理	<input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理
根拠法令等	仙北市総合計画			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 直営（一部民間委託）	<input type="checkbox"/> 民間委託（全部）	<input type="checkbox"/> 補助

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	仙北市を訪れる観光客
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	何度も仙北市を訪れてみたいと思う気持ちを持ち続けていただくため。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	観光マップ等の印刷、観光PRの実施、広告の展開をし、もって仙北市の観光振興に資する。

【事務事業の推移】

		項 目	単位	23年度実績	24年度実績	
効果	活動指標	観光客数	目標	人	7,560,000	8,000,000
			実績	人	3,831,226	5,078,448
			達成度	%	50.7%	63.5%
	成果指標	宿泊者数	目標	人	1,150,000	1,150,000
			実績	人	541,254	573,931
			達成度	%	47.1%	49.9%
投下コスト	項 目		総事業費	23年度決算額(千円)	24年度決算額(千円)	
	事業費(人件費を除く)(A)		—	11,225	11,810	
	人 件 費 (B)		—	33,916	33,144	
	職 員 数		—	4.00	4.00	
	職 員 平 均 人 件 費		—	8,479	8,286	
	(A) + (B) 投下コスト		—	45,141	44,954	
	財源内訳	国 庫 支 出 金		—	0	0
		県 支 出 金		—	0	0
		地 方 債		—	0	0
		そ の 他		—	0	0
		一 般 財 源		—	45,141	44,954
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	12	9	
	市民1人当たりのコスト(円)		—	1,517	1,529	

【事務事業の今までの成果】

東日本大震災で入れ込み客数が大幅に落ち込んだが、観光宣伝事業の大胆な展開により入れ込み客数の回復には力強さを感じる程度に回復してきている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	東日本大震災以降落ち込んだ入れ込み客数の回復に積極的に取り組んでいる。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	落ち込んだ観光客の回復に積極的に取り組んで欲しい。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続（実施）	観光の入れ込み客数の回復に力強さが感じられてきている状況を勘案すれば、現状の取組が効果を出してきている面もあることから、引き続き継続して事業を展開する必要があると感じているため。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判定	判定に至った理由
A	東日本大震災から2年経過し、観光客の入込数の回復が見られます。引き続き広告等を展開し、仙北市をPRすることでリピーターを増やしていくべきだと考えられることから、継続実施と考えます。

